

中国代文学／甲骨文・金文／「詩經」 「万葉集」の比較研究
白川静没後十年記念出版

対談 私の白川静

芳村弘道
西川照子
津崎史

対談
私の白川静

誰も知らなかった、
誰も語らなかつた、
もう一人の、
「白川静」のものがたり。
幻の写真、初公開。

「もう一人の白川静」

対談という、かるやかな語りから生まれる



初公開の
写真は貴重

編者・立命館大学白川静東洋文字文化研究所
対談者・津崎史（白川静 長女）・西川照子（編集者）
司会・芳村弘道（立命館大学文学部教授）
あまりにも有名になってしまった「白川文字学」。
しかし、実は私たちはその本当の姿を知らない。
この本は本物の「白川文字学」への案内書である。

「こんなやさしいのはおらんぞ」という
白川静の肉声が聞こえる。

- 序章 「白川静」の掌に乗る―遊べ、遊べ、遊べ
- 第一章 歌 白川静が歌う―神への申し文
- 第二章 笑 白川静が笑う―親爺ギャグ
- 第三章 神 白川静が恋う―母恋し
- 第四章 じ 白川静が書く―ト文・金文
- 第五章 遊 白川静が楽しむ―「孤独」の喜び
- 終章 白川静先生を想う―桂東の教え

【刊行】二〇一七年十月三十日（月）

※ 書店にてお求め下さい。

※ 定価（本体九二六円＋税）にて販売中。

※ 白川研究所が主催する講座・講演会・シンポジウム等の会場でも
ご購入いただけます。

発行 エディシオン・アルシーヴ
〒614-8117
京都府八幡市川口西扇24-9
電話・FAX 075-874-1359